

令和5年12月7日

会員各位

いきいき直売の会事務局

## すもも（プラム・プルーン）の剪定方法について

日頃は、当会の運営に格別のご高配を賜り深く御礼申し上げます。

標記の件について、令和2年度～今年度にかけて苗木を定植された方につきましては、これから実施する剪定作業が樹の骨格を決める重要な作業となります。

今年度、果樹部会では、11月27日にJAはくい管内のすもも栽培圃場に伺い、先進地の剪定技術を学びました。

下記資料①②を参考に今年12月～翌年2月中旬ごろまでに適切な剪定作業を行って頂きますようお願い致します。

また、すもも「貴陽」「太陽」を栽培されている方については、結実率を高めるために、それらの樹種に受粉樹「ハリウッド」を高接ぎすることを検討して頂きたいと考えております。

高接ぎを実施される方は、来春の接ぎ木作業の前準備として、資料③を参考に「ハリウッド」の剪定枝を「穂木」として長さ20cm程度に調整し、ご自宅の冷蔵庫にて保存して頂きますようお願い致します

（ただし、「穂木」の確保は、植付け4年目以降の樹で行ってください。植付け1～3年目の株樹については、まだ枝数も少なく接ぎ木に適した穂木も確保しにくいと思われます。）

また、実際の接ぎ木作業については、3月中旬頃に開催予定の「氷見市りんご組合 自家苗生産現地研修会」に皆様も参加して頂き、講習を行う計画です。

資料④の「3月の切り接ぎ方法」、「高接ぎ」の内容をご確認願います。

※裏面に続きます

## ◆参考資料

①すもも剪定資料1 (A4両面1枚 11月27日 JAはくい剪定講習会資料)

②すもも剪定資料2 (A4両面5枚冊子 農文協「果樹のせん定」より)

※枚数が多いため今回は含めません。必要な方は下記担当までご連絡ください。

③穂木の保存方法

④簡単にできる苗木の繁殖方法 (農文協「すもも栽培・利用加工」より)

## ◆「黒斑病」防除について

今年度6月27日に実施したすもも圃場巡回にて、一部の生産圃場にて「黒斑病」と思われる症状が見受けられました。

JAはくい管内でもこの病害は多く発生していると伺っています。下記薬剤で予防しましょう。

また、この樹の樹勢が弱いことも発生の要因と考えられます。

樹勢に応じて基肥の施用を行いましょう。



6月27日 すもも圃場巡回にて

黒斑病とみられる症状。

樹の樹勢が弱く、葉に赤褐色の病斑や穴が見られました。

### 黒斑病対策：

IC ボルドー412 30倍 散布 20~70L/100㎡

基肥の施用：(栽培面積100㎡当りの施用量、植付け4年目の株の場合)

- ・BM有機果樹専用 6kg
- ・苦土石灰 8kg
- ・完熟堆肥 120kg
- ・BMようりん 4kg
- ・FTE 0.4kg

※1~3年生は上記の3割程度とする。

黒斑病は枝に越冬病斑を形成し、翌年の発生源となります。剪定の時に病斑が付着していると思われる枝は剪除しましょう。また、剪定枝を樹の周辺に置いておくと、翌年の発生源となることもあります。剪定枝は焼却するか圃場外へ持ち出して処分するようにしましょう。

いきいき直売の会 スモモ栽培特報 送付対象者

送付日：

2023/12/7

	支所	出荷者コード	出荷者名	出荷者区分
1	553	771	干越 正則	R3-R4出荷者
2	556	138	東海 俊彦	R2-R4苗木注文者
3	557	223	西川 幸子	R2-R4苗木注文者
4	557	262	多胡 求	R2-R4苗木注文者
5	557	740	中山 仁	R2-R4苗木注文者
6	558	764	金田 美智子	R2-R4苗木注文者
7	559	761	谷内 剛史	R3-R4出荷者 兼 R2-R4苗木注文者
8	562	284	藪岡 慶悦	R2-R4苗木注文者
9	562	831	本江 昌子	R2-R4苗木注文者
10	563	234	津野 英幸	R3-R4出荷者 兼 R2-R4苗木注文者
11	567	665	坂下 武男	R3-R4出荷者
12	569	80	宝住 与一	R5苗木注文者
13	570	86	扇浦 竜昭	R2-R4苗木注文者
14	572	225	海辺 るみ子	R2-R4苗木注文者
15	573	374	長瀬 明子	R2-R4苗木注文者
16	574	837	中嶋 義明	R2-R4苗木注文者

令和5年11月27日

## すもも剪定資料

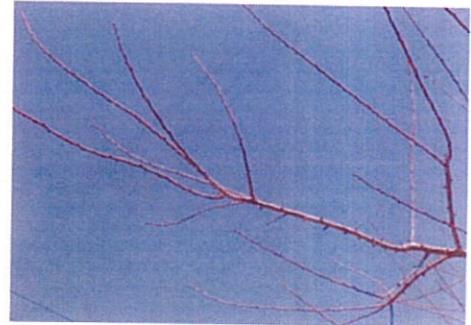
### 1 すもも樹の生育特性

- ・ 幼木期は新梢伸長が旺盛で樹勢が強く直立するが、樹齢が進むに伴ってしだいに開帳し、樹勢も落ち着いてくる。
- ・ 太枝の剪除は枯れこみが入りやすいため、早めに側枝を更新する。
- ・ すももは短果枝及び花束状短果枝に品質の良い果実が成るが、基部の枝が欠けやすいので、切り返し剪定を主体として枝の発生を促す。
- ・ 品種によって枝の発生や樹姿の形が異なってくる。短果枝化しやすい「ソルダム」タイプ、立枝が多く発生する「太陽」、「貴陽」タイプ、2つの中間を示す「大石早生」タイプの3つに分類される。

### 2 品種別の特徴

#### (1) ソルダム

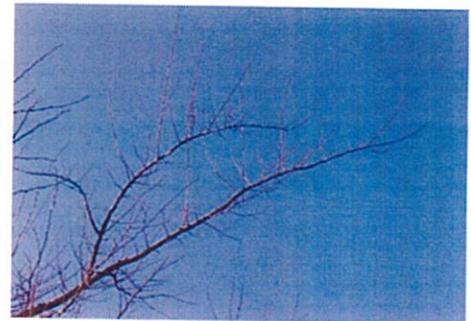
- ・ 先端の2～3芽が強く伸びて、それ以外の芽はほとんど伸びずに短果枝となる。
- ・ 短果枝の形成は容易だが、枝の発生が少ないため、強めの切り返し(1/2～1/3程度)が必要となる。



第4図 ソルダムの新梢発生の特性

#### (2) 太陽、貴陽

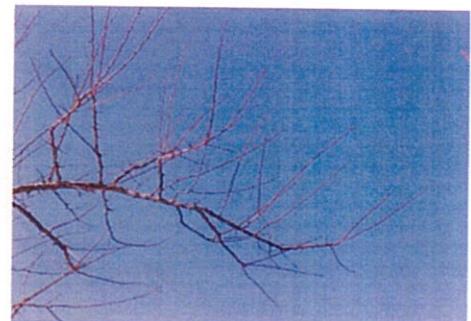
- ・ 直立した枝の発生が多く、樹形も直立しやすい。細い枝が上向きにほうき状に出るのが特徴である。
- ・ 枝の発生は多いため、間引き剪定と弱めの切り返し(1/3～1/4程度)を合わせて行う。また、樹幹上部に向いた枝は大きくしないように切除する。



第6図 貴陽の新梢発生の特徴

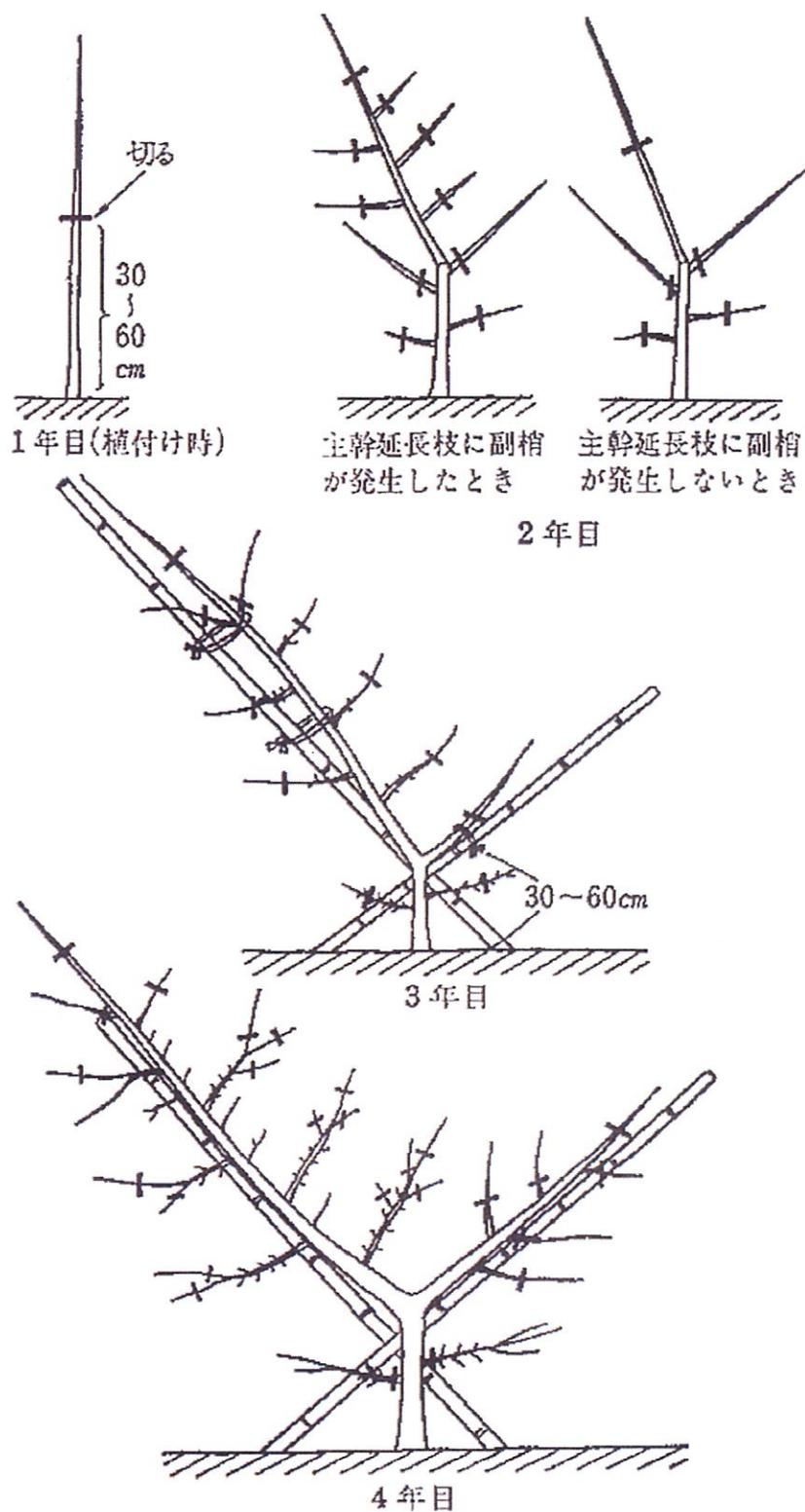
#### (3) 大石早生

- ・ 枝の発生は「ソルダム」と「太陽・貴陽」の中間的特徴を示す。先端の2～3芽は強く発生するが、それ以外は中・短果枝となる。
- ・ ソルダムより花芽は着生しにくい。



第7図 大石早生すももの新梢発生の特徴

### 3 剪定方法の実際



第2図 樹の仕立て方

## いきいき直売の会 果樹部会 すもも栽培資料

## ◆穂木の保存方法

- 1 落葉後の直径7mm以上の枝をせん定時(12~2月)等に採取し、必要な本数と長さを考慮して、冷蔵庫に入る大きさに調整する。接ぎ木時に枝の両端を切り落とすため、保存する枝は、以下を目安に接ぎ木時より、やや長めに調整する。

苗木1本の生産に必要な長さ	保存時	接ぎ木時
穂木	20 cm程度	10 cm程度

※枝の太さが2cm以上と太すぎるものは調整しにくく、また、枝の色が緑色のものは芽が充実していないため、利用しない。

- 2 調整した枝は乾燥を防ぐため、新聞紙に包み、ビニール袋でしっかりと密閉し、接ぎ木時期まで冷蔵庫(2~7℃程度)で保存する。品種が複数ある場合は、品種が混ざらないよう別々に保存し、新聞紙やビニール袋に品種名を忘れずに記載する。

接ぎ木時期 : 3月中下旬

## 簡単にできる苗木の繁殖方法

スモモは挿し木での繁殖性が低い  
ため、一般に接ぎ木で苗木の増殖を  
おこないません。種子からの繁殖では  
遺伝的に異なった個体が出現するの  
で、同じ特性を持つ個体を増殖させ  
ることはできません。

### モモ台とス台

接ぎ木をするには、その品種を接  
ぐ台木が必要となります。栽培農家



モモ台木 (おはつもも)

は入手しやすいおはつももなどのモ  
モ台 (モモ台木) を使うことが多  
く、種苗業者は繁殖が容易なス台  
(スモモ台木) を使うことが多いよ  
うです。

スモモはモモと近縁種であるため  
モモ台とも接ぎ木親和性は良好で接  
ぎ木することができず。モモ台を  
用いる場合は、採種用の母樹を養成  
してその種子を使うか、種苗業者か  
ら購入します。モモ台は排水のよい  
乾燥しやすい土壌では生育が良好と  
なり、生産力も高いという特徴があ  
ります。

ス台とは、スモモ用の台木として  
もっとも一般的に使われているミロ  
バランスモモの一種です。

挿し木繁殖可能なため台木の増殖  
は容易ですが、ス台自体はなかなか  
手に入りにくいと思われます。モモ  
台に比べて排水不良な土壌に適して  
います。

### 苗木の自己増殖

庭先果樹として苗木を自己増殖す  
る場合は、モモ台を用いるのがもっ  
とも簡単でしょう。モモ台は苗木業  
者で販売しています。

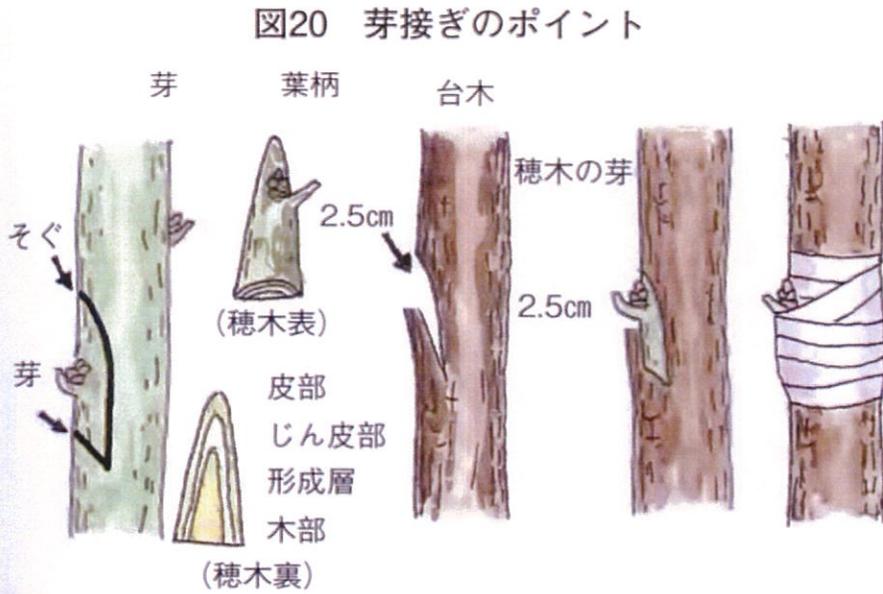
なお、苗木の自己増殖について  
は、購入した品種を自園での果実生  
産のために増殖することは問題あり  
ませんが、増殖した苗木を第三者に  
譲渡・販売することは種苗法という  
法律で禁止されています。

また、自分が栽培している品種の  
穂木を他人に譲渡することも禁止さ  
れています。詳細については、農林

水産省の「品種登録ホームページ」  
<http://www.hinshu.maff.go.jp>で  
 確認してください。

### 芽接ぎ・切り接ぎが一般的

スモモの接ぎ木は、9月に図20の



ように「芽接ぎ」をするか、3月に  
 「切り接ぎ」もしくは「芽接ぎ」を  
 おこなうのが一般的です。

穂木の活着率やその後の生育には  
 接ぎ木方法や時期による違いはない  
 ので、自分に合った方法でおこなっ  
 てください。

### 9月の芽接ぎの方法

#### 用意する材料と道具

穂木、台木、さらにカッター、接  
 ぎ木テープ、ラベルを用意します。

まず、接ぎ木する1週間くらい前  
 から台木にはじゅうぶんに灌水をし  
 ておきます。穂木の採取にあたって  
 は、台木と同じ太さの穂木を選ぶよ  
 うにします。

また、穂木はなるべく日当たりの  
 よい部位から採取します。採取した  
 穂木は水分の蒸散を防ぐため葉を切



接ぎ木に必要な材料と道具

り落とし、水につけておきます。  
**芽接ぎの手順**

① まず、穂品種の芽をそぎます。  
 ② 次いで、台木にも同様に切り込  
 みを入れ、穂品種の芽を挿し込む部  
 位をつくります。

③ 削いだ芽を台木にはめ込み、枝  
 の外周部にある緑の形成層の部分が

芽接ぎの手順



4 台木に芽をはめ込む



1 カッターを穂木の芽に当てる



5 接ぎ木テープを巻きつける



2 穂木の芽をそぎとる



6 品種名を書いたラベルを貼る



3 台木に切り込みを入れる

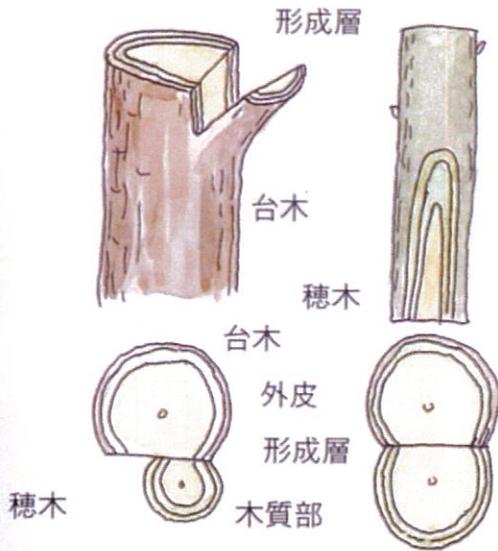


芽接ぎ後の生育

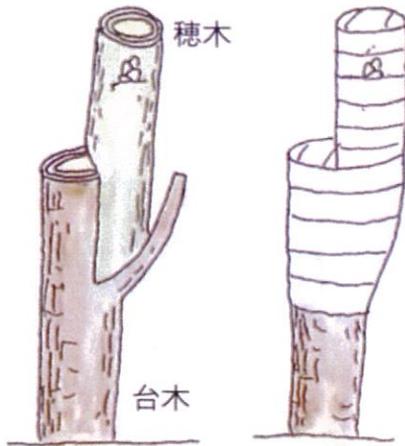
ちょうど合うようにします。台木と穂木の太さが違い、形成層が合わない場合は左右どちらかの形成層を合わせます。

④ 差し込んだ芽が動かないように注意して、接ぎ木テープを下から上に巻きます。接ぎ木テープは伸縮性がありますので、切れない程度に極力伸ばしながら、きつく巻きます。このときに芽の部分はテープを巻かないか巻いても1回とします。最後にラベルに品種名を書いて貼りつけ

図21 切り接ぎのポイント



穂木が小さい場合、片側の形成層だけ台木の形成層に合わせる



台木の切り込み部分に穂木を挿し込み、伸長性のあるテープで接ぎ木部を覆う

ましよう。  
9月の芽接ぎでは、芽が活着しても新梢が伸びはじめるのは翌年の3月下旬になってからです。活着した場合は、接ぎ木後1週間くらいして葉柄がポロツと落ちますので目安にするるとよいでしょう。  
また、活着しても春先に新梢が伸長するまでの間に接ぎ木部が雑草などで覆われてしまったり、過度に乾燥してしまうと活着した芽が枯死し

てしまうこともあるので、翌春までしっかりと管理をおこなってください。

### 3月の切り接ぎの方法

#### 用意する材料と道具

穂木、台木、さらに剪定ばさみ、切り出しナイフ（カッター）、接ぎ木テープ、ラベルを用意します。  
接ぎ木する穂木は剪定時に採取し、密封して冷蔵庫にしまっておき



切り接ぎ後の状態

ます。2月下旬を過ぎ、台木が水が上がはじめたら接ぎ木の時期です。接ぎ木する前に台木にはしっかりと灌水をしておきましょう。

#### 切り接ぎの手順

①穂木を図21のように切り取りま

す。3月の接ぎ木では硬くなった休眠枝を使うため、工作用のカッターでは切り口が波打ってしまうことがあるので、切り出しナイフのほうが

### 切り接ぎの手順



4 穂木も二芽残して上部を切る



1 穂木を切り取る



5 台木に穂木を挿し、先端をテープで巻く



2 台木に挿す部位をくさび状に



6 接ぎ木部をテープで巻き、固定させる



3 台木にも切り込みを入れ、真上を切る

適しています。

② 台木にも切り込みを入れ、剪定ばさみで切り込みを入れた部位の真上で切り返します。

③ 穂木をしっかりと挿し込み、形成層を合わせます。そして、下から接ぎ木テープをしっかりと巻き、最後に品種名を書いたラベルを貼りつけます。

挿し穂の上部は乾燥防止のため、接ぎ木前に接ぎ木テープを巻くか、接ぎ木後に癒合剤を塗布しましょう。

### 3月の芽接ぎの方法

芽接ぎの方法は9月の芽接ぎで説明したのと同様の方法でおこないますが、穂木はあらかじめ確保し冷蔵庫にしまっておきましょう。

## 緑枝接ぎの例



緑枝接ぎでは新梢をカミソリの刃で切る



緑枝を挿し込み、活着させる

## それ以外の接ぎ木の方法

### 緑枝接ぎ

5月ころになると台木からは新梢が伸びはじめ、スモモの樹も新梢が伸びはじめます。この時期に台木の新梢に接ぎたい品種の新梢を接ぐ方法です。接ぎ木の手法と手順は3月の切り接ぎの方法と同じです。

なお、<sup>りよくしつ</sup>緑枝接ぎで使用する新梢

はとても柔らかいのでカッターや切り出しナイフではなく、カミソリの刃で切ることをおすすめします。3月に接ぎ木をしたけれど、活着せず失敗してしまったときなどに補完的に利用するとよいでしょう。

### 高接ぎ

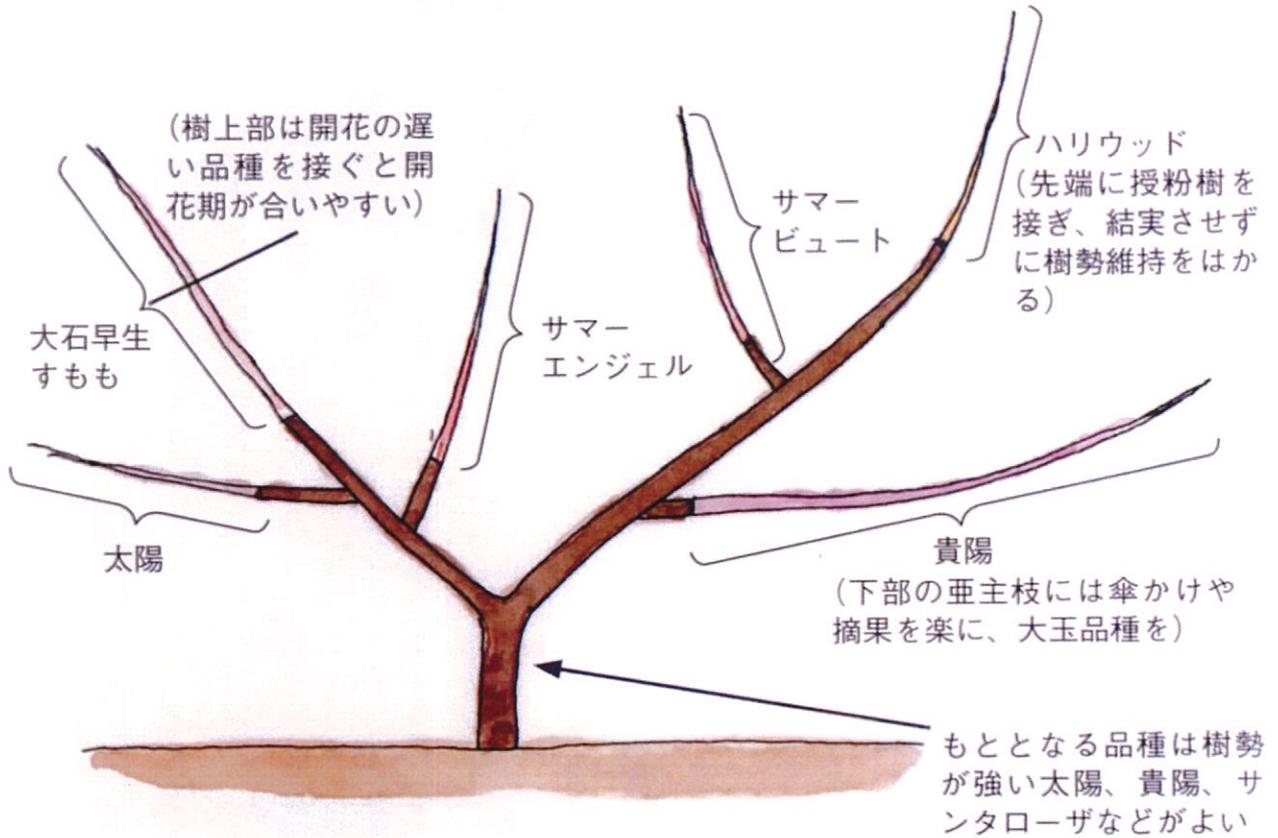
すでに植えつけてある樹の新梢に別の品種を接ぎ木し、その枝だけ別の品種とする方法です。

時期は3月の切り接ぎと同じタイミング、同じ方法でおこないます。1年枝に接ぎ木したほうが活着率は高くなります。また、枝先ではなく枝の基部に接ぎ木するほうが後のちの管理が容易です。

樹を1本しか植えるスペースがないが、交互授粉できる品種や授粉樹が欲しい場合などに、利用するとよいと思います。

しかし、スモモにはウイロイドによる病害があり、これは接ぎ木により感染するので、感染してしまうと伐採するしか方法はありません。ウイロイドに感染していても症状が出ない品種もあるため、健全な樹から採取した穂木かどうか確認してから接ぎ木するようにしましょう。また、このような理由からあまりおすすめする手法ではありません。

図 22 高接ぎによる「スモモ一家」の例



高接ぎの例



樹勢の強い樹が適している



樹上部の高接ぎ

健全な穂木を採取できることを前提に、高接ぎで授粉樹を接ぎ木するばかりでなく、図22のような「スモモ一家」をつくることもできますので、参考にしてください。

この方法は、筆者が勤務する職場の大先輩が実際に家庭で実施しており、その方から教えていただいた方法です。もとなるスモモの樹がある程度大きくなってきたところで順次さまざまな品種を高接ぎします。もとなる樹は、太陽や貴陽、サンタローザなどの樹勢が強い樹が適しています。

このような樹をつくり、開花期が合うと人工授粉をしなくても結実します。結実にムラがあるようなら、その枝（品種）だけ人工授粉をするとういでしょう。